

まちの“こと、自分の“こと、一緒に考えよう。さろま町の議会だより

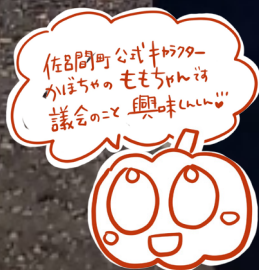
コトコト

2026
No 146



今回の内容

まちのお話 第1回定例会一般質問
令和8年度予算概要
まちの予算議員はこう見た、考えた
トラットリアさろま議会
SAROMA TOWNFILE (裏表紙)



今回の表紙 佐呂間高校フォトコンテスト

今年度は“青春”をテーマとして開催されました。今回は、応募作品の中からこの一枚を表紙に選ばせていただきました。
タイトル：太陽が眩しい時間
太陽と海がマッチしていてきれいに輝いていた



第1回定例会一般質問



但木早苗
議員

- ①ゼロカーボンシティ宣言をうけて
- ②再生可能エネルギー施設の適正な設置に向けた条例制定について
- ③教育行政執行方針をうけて

ゼロカーボンシティ宣言 町民一丸となつての取組みが必要

質

脱炭素への取組は町民の理解がなければ上手く進まないと思うが、再エネ導入の部分では、太陽光発電の設置など導入の初期費用がかかることが大きな壁となっているとアンケート結果にも出ている。設置への補助は平成30年に既に廃止しているが、新たな補助制度を設ける考えはあるのか？

答

廃止された補助制度は、国の補助に町が上乗せするものでした。現在、新たな脱炭素に関わる国の補助制度が各種あり、町が補助を実施すると国から町へ補助がでるものもあります。そうしたものを積極的に活用しながら、併せて住民の皆さんへ各種制度の周知徹底を行っていきます。

質

再エネ導入ポテンシャルのまとめでは、太陽光発電が最も高い評価になっていたが、そのほか木質バイオマス、風力発電、電力の地産地消についてもふれられている。今後、調査や検討、評価が行われるものと思うが、取組みを推進するためには住民の理解・協力が不可欠であるため、住民周知として調査等の内容は公表されるのか？また、佐呂間でのエネルギーの地産地消は難しい部分もあるが、実現に向けてどうすべきか町一丸となつて取組む必要があると思うがそうした考えは？

答

調査、検討、評価については、第三者として佐呂間町ゼロカーボン推進協議会へ調査等の結果を報告し、助言・評価をいただき、それらを基に施策の見直しや新たな施策の実施検討を行っていきます。町民の皆さんへは広報等で定時に周知していかなければならないと考えているところで、エネルギーの地産地消では、コスト面の課題と町内企業との連携について検討しながら、今後取組みを進めていきたいと考えています。

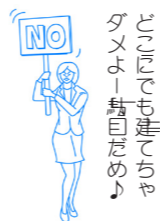
質

令和7年第4回定例会、鈴木議員の一般質問で町長は、太陽光発電建設の規制に関する条例等の制定は考えていないとの答弁だった。しかし、近年建設による自然破壊や景観の破壊など多くの問題が起きているのは事実。道内の自治体では、自然や景観を守るため、多額の予算を使い土地を買い上げたとの報道があった。今後、佐呂間でそうした問題が起きる前に、多額の予算を使わなければならない前に、国の動向を見てからではなく、町としてどうすべきかを考え打ち出していく必要があると思うが、町長の考えは？

課題もある太陽光発電 町の考えを打ち出すことが必要

答

今後考えていかなければならないことと認識していますが、佐呂間の地理的に大規模な建設は見込まれないこととあわせ、現在、国がそうした問題に対し、規制の強化を進めている中で、現状では町として条例等の制定までは考えていません。また、他の市町村も同様に検討していることから、広域的な課題として検討をしていきたいと考えています。



様々な理由を抱えている子どもへ不登校支援でメタバース活用に期待

質

誰一人取り残さない多様な学びの場の保証として、新年度から新たにメタバース空間を活用した不登校支援に着手するとあるが、具体的にどのような取組みになるのか？また、多様な個性への対応や在籍する学校の対応、保護者との情報共有などはどう行われるのか？

答

メタバースとはインターネット上の仮想空間のことで、アバターというキャラクターを自分として動かし、実際には自分の姿を見せずに他者との活動が可能なのです。自分のペースで他者に関わる経験を積み、社会との接点を取り戻していくことが期待されています。町教育委員会では、北海道教育委員会が実施するメタバース空間を活用した不登校児童生徒支援事業に参加し、取組んでいくこととしています。この空間では、教育経験者などが配置され、空間内での活動について在籍校と情報共有を行いながら不登校の児童、生徒へ支援を進めていくものとなっています。



面 栄次
議員

- ①災害対策等について
- ②野犬及び放し飼い犬の対応について

近年増加している異常気象・災害 町の対策と備えは？

次は避難所かー 温かいうちに居けるぞ 自転車で行けるかなー キッチンカーいいなー



質

近隣の市町村で長期停電が起きた際、食料の調達に困難になり苦労していた。災害などの場合に食料支援を目的としてキッチンカー組合などと協定を結ぶ考えは？

答

災害時の物資供給に関わる協定は、北海道が道内全市町村を包括する立場で多くの企業と提携を結び不測の事態に備えています。また、町としても水を注ぐだけで食べられるアルファ米などを備蓄しています。キッチンカー組合との協定は、来町の際の安全確保や広域災害の場合など課題も考えられますが、今後検討したいと思います。

質

ドラッグストアチェーンと協定を結び、災害時に商品を提供いただくことで食料等の確保、備蓄管理の労力やロスを無くす対応をとっている自治体もあるが、町内商店等と同様の協定を結ぶ考えは？

答

町内商店等との協定については、平成18年に町商工会と災害時における人的・物的協力の協定を結んでいます。備蓄管理やロスを無くす取り組みは、町の備蓄品を小中学校の防災体験等での試食体験などで消費しながら、ローリングストックを行っています。保存期間が比較的長い飲料系については、商店などの商品と備蓄品をわけ隔てなく管理できると考えられることから、今後検討を進めていきたいと思っています。

質

防災無線で大雨や大雪など、予報の段階で注意が必要な場合や避難所の設営予定、火災が発生した場合の注意喚起など災害等に対応した周知について、防災無線を活用する考えは？

答

天候に関する注意喚起では、気象庁の警報の発令を受けて発信することとしており、昨年では発達する低気圧の事前情報、暴風警報、暴風雪警報の発信。7月の猛暑の際にはクーリングシェルター開設などの発信を行っています。火災における発信は今までありませんが、住民の避難が必要と消防が判断した場合や、その他住民に危険が予想される場合には、今後も積極的に緊急放送を発信していきます。

未だつづく野犬の目撃情報 放し飼いや野犬への町の対応は

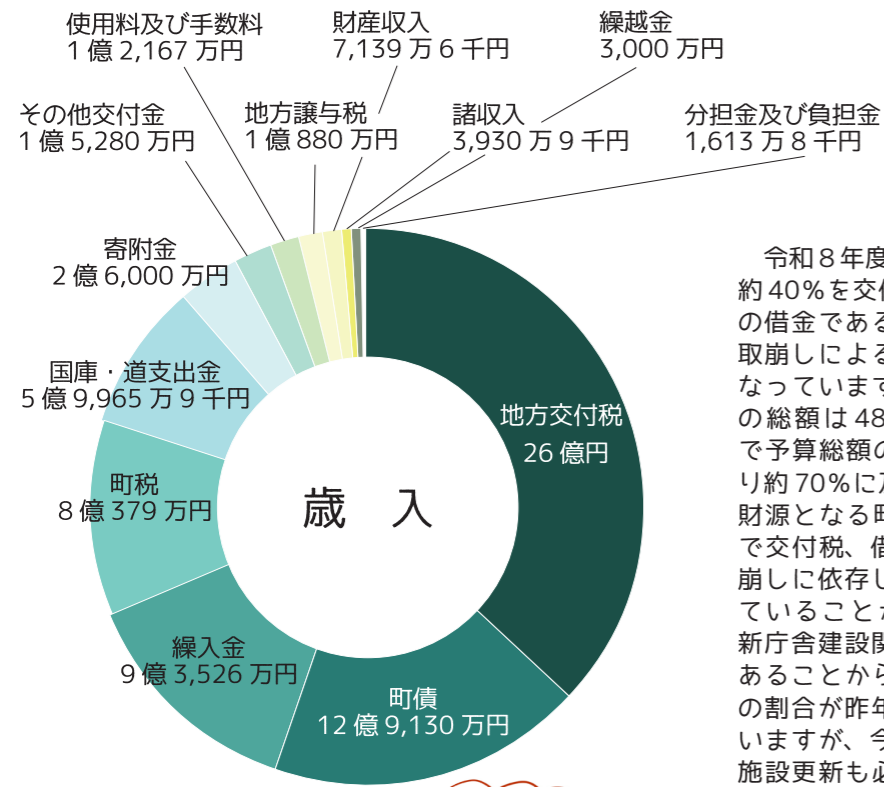
質

以前、多頭飼育の件があったが、最近、野犬と思われる犬の目撃や人への威嚇、飼い犬の餌をとるなどの情報が増えている。現在の町の飼育方法の周知、野犬パトロール等の状況は？

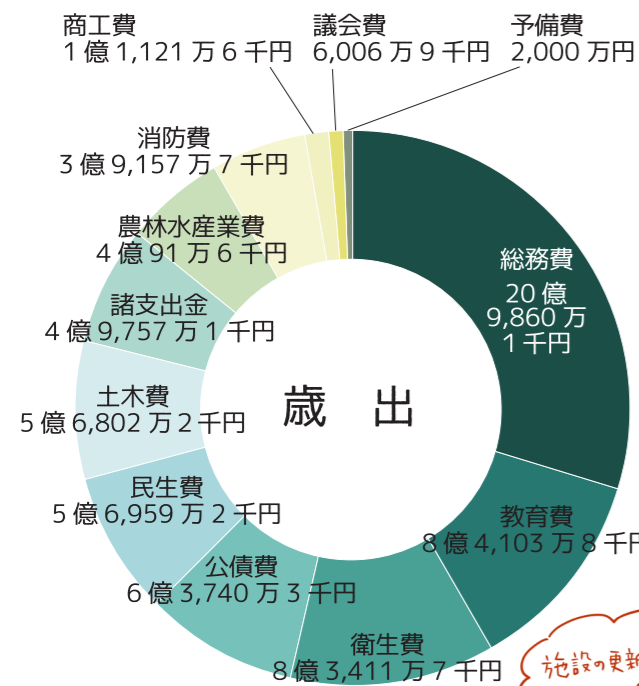
答

多頭飼育については、全頭の去勢・避妊手術を行った上で新たな飼い主を探し、譲渡されています。また、飼い主の見つからなかった多くの犬については大阪府の保護施設に移送が完了し、解決したと判断しています。しかしながら、その後も犬の目撃情報が町にもよせられています。飼い犬の放し飼いのケースも多くあり、登録情報から飼い主を特定し指導を行っているところです。野犬に関しては動物愛護法により捕獲方法も限られており、難しい状況ではありますが、箱罠の設置や巡回の強化を行っていますので、今後も地域の安全に努めていきます。

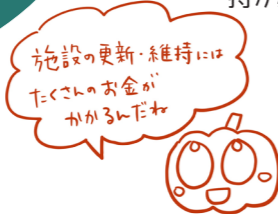




令和8年度の歳入予算は、約40%を交付税が占め、町の借金である町債と基金の取崩しによる繰入金が主となっています。3つの項目の総額は48億2,656万円で予算総額の68.66%となり約70%に及びます。自主財源となる町税は11.43%で交付税、借金、基金の取崩しに依存した財政となっていることがわかります。新庁舎建設関連経費などがあることから町債、繰入金の割合が昨年より増加していますが、今後の計画的な施設更新も必要であり、長期的な目線で、より健全な財政運営が求められます。



歳出予算では、総務費の約30%となる庁舎建設に要する経費で5億8,686万1千円、衛生費の廃棄物処理場に係る遠軽地区広域組合負担金で3億4,438万8千円、教育費の佐呂間小学校大規模改修工事で2億3,049万3千円など施設の更新、維持などに関する経費が大きなものとなっています。今後も、中学校の大規模改修や特別養護老人ホーム、町体育館など更新も検討しなければならぬ施設が多いことから、国の有利な起債や補助金の活用により、支出を抑えながら公共施設の維持が必要となります。



← 次のページでは主な事業について掲載！

『佐呂間町令和8年度予算』 こうなりました！

予算総額は70億3012万2千円 新庁舎建設や小学校大規模改修など 施設関連経費が増加



予算に込められた思い、テーマは

- ①令和8年度予算について
- ②佐呂間町の将来像ビジョンについて

質 令和8年度予算が提出されたが、予算案の内容にテーマを付けるとしたら、どのようなタイトルになるのか、込められた思いは？

答 令和8年度予算の特筆すべきものは、やはり新庁舎建設工事となります。本町は合併の破綻から、自立と生き残りのために職員給与の独自削減、各種手当の廃止など職員自ら身を削り、今も庁舎周辺の清掃やトイレ清掃を行い無駄の無い行財政運営に努めています。そのような中で、現庁舎の半分は築60年を経過しており、耐震基準を満たしていないことから、大きな額となりますが、新庁舎の建設にたどり着くことができました。

昨年から本町の教育で取組んでいる、ふるさと教育では子ども達が佐呂間の魅力と課題を学び、まちづくりについて考えています。その子たちが、大人になり次の世代に魅力を伝えていくためには、未来永劫に佐呂間町を存続させなければなりません。そうした意味を含め、建設工事スタートとなる令和8年度予算のキャッチフレーズは、「未来永劫佐呂間町存続の宣言予算」と名づけたいと思います。

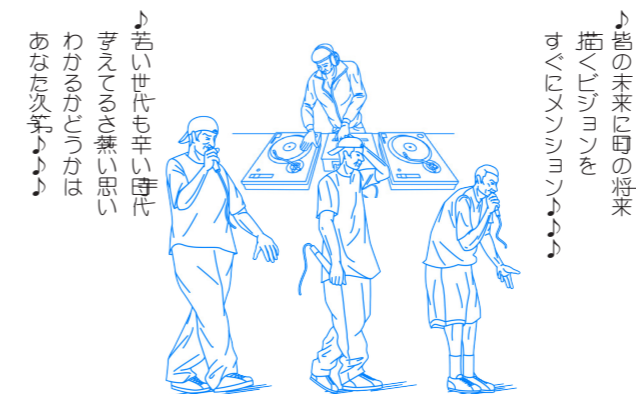


これからの佐呂間町長の描くビジョンは？

質 人口減少が進む中、人口の多くを占める高齢者福祉も大切だが、若者が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりが必要と考えるが、若者や子育て世代の声を聞くことや、町民はもちろん町外からも佐呂間に住みたい、住み続けたいと思える希望あるビジョンについて、どう描いているのか？

答 人口減少は、少子高齢化が加速する中、いかに歯止めをかけるかが大きな行政課題と認識しています。佐呂間に人を呼び込むためには自然や食などありますが、一番は“人”と考えています。心の過疎にならない、笑顔で生き生きとしている豊かな暮らし、豊かな地域づくりを進めていきたいと考えていますし、町長としての役目と思っています。

若い世代の声を聞くことについては、自治会懇談会や違う形での会などを通して町民の皆さんの声を聞く機会を作ることを、今よりもっともっと積極的にすすめていきたいと考えています。役場でも若い世代が佐呂間で働き続けたいと思える、佐呂間の未来を考える、まちづくりを本気で考える姿勢を研修などをとおして作っていき今後も豊かなまちづくりを進めていきます。



安定した給食提供のため
計画的な設備・機器の更新を

給食センター関連
2,432万6千円



平成19年に建設された給食センターは、18年が経過し、各調理機器の保守点検、整備を行ってきましたが、製造中止や部品供給が無くなる機器もあり、令和2年度から計画的な調理機器等の整備更新を行っています。令和8年度は、厨房機器等設備更新工事としてカートイン消毒保管機の更新を行います。これまで令和2年の冷凍庫、3年の冷蔵庫など毎年実施され、令和10年までを全体計画としています。

そのほか、厨房機器以外に関連する機械の経年劣化している部品の交換や、センター建物に係る設備においても整備を行い、照明のLED化も行う予定としています。今後も安全な給食を、安定して提供できるように計画的な整備が行われることを期待します。

- 主な給食センター関連事業予算
- コンテナ昇降式消毒保管機ワイヤー交換
・1,526,000円
 - 自動ドア装置取替
・1,320,000円
 - 厨房機器等設備更新工事
・15,265,000円

- 破碎機部品交換
・1,144,000円
- 設備更新工事照明具取替
・1,221,000円
- 外調機冷温コイル取替
・3,850,000円

その他主な事業予算

ふれあいバス購入事業（若里・トカロ千浜線）	27,497,000円
佐呂間保育所空調設備設置工事	9,625,000円
橋梁長寿命化修繕事業	37,246,000円
道路台帳システム導入事業	17,490,000円
大成9線道路整備事業	18,029,000円
若佐39号道路整備事業	8,822,000円
除雪機械購入事業	79,328,000円
若里基線道路整備事業	66,781,000円
西富66道路整備事業	48,356,000円
若佐市街南道路整備事業	44,561,000円
水道スマートメーター導入事業	64,620,000円
佐呂間簡易水道基幹改良事業	91,000,000円
下水道整備事業	145,600,000円



新庁舎建設関連
5億8,686万1千円



- 主な新庁舎建設関連事業予算
- 新庁舎建設工事
・562,439,000円
 - 新庁舎建設工事管理業務委託
・16,456,000円
 - 新庁舎執務環境プラン策定支援業務委託
・2,310,000円
 - 町有建物解体撤去工事
・2,222,000円

新庁舎建設工事、新庁舎建設工事管理業務委託料は令和9年度までの継続事業となります。8年度の予算額は記載のとおりで、工事の令和9年度見込額は18億480万3千円、合計見込額は23億6,724万2千円、工事管理業務委託の令和9年度見込額は同額の1,645万6千円、合計見込額は3,291万2千円を予定しています。そのほか関連事業が今年度以降も予定されており、庁舎移転までは様々な予算が計上されることとなります。

昭和63年建設の佐呂間小学校
長寿命化へ大規模改修

佐呂間小学校
大規模改修工事
2億3,049万3千円



佐呂間小学校大規模改修工事は、令和7年度から9年度までの3年間で行う予定で、7年度に実施設計委託522万5千円を実施し、今年度は校舎棟の工事を行うものです。工事では老朽化の進んでいる外壁塗装と、給排水設備、ガス設備の改修を行い、校舎内の照明についてもLED化する内容となっています。次年度の9年度には、体育館の改修を8,010万2千円で行う予定です。工事では校舎と同様に外壁塗装と照明のLED化工事、給排水設備の改修を行う予定としています。子ども達が安全に、学びや遊びに集中できるよう、学校環境の改善を図りながらの施設維持が望まれます。





佐藤昭男 議員

新庁舎の建設経費、そのほか学校を含む公共施設の維持により増額となっているが、これからの計画的な修繕、更新など維持管理において必要な経費であり、必要な経費増と考えられる。しかし、現状の維持にプラスして今後の町づくりを考えた予算としては、佐呂間高校存続のための下宿等の準備、移住・定住に対する新規事業の創設について、次年度以降に期待する。

佐呂間町令和8年度予算 “議員はこう見た・考えた！”



3月10日、予算特別委員会が行われ、佐呂間町令和8年度予算の審議を行いました。審議では、一般会計・特別会計・企業会計において質疑が行われた後、全員一致で賛成となりました。翌日、11日の第1回定例会にて委員会での賛成を報告し議決となりましたが、町民の代表である議員は8年度予算の審議を終え、どう見て、どう考えたのか…。各議員の新年度予算に対する考えをお伝えします。



高橋紀久 議員

「ムリ・ムダ・ムラ！なくてヨシ！」
必ずや掛かるであろう経常的経費、これからの繋がるであろう臨時的経費など、いずれも必要十分かつ過不足のない数字かと思われる。増額したものに目を奪われがちだが、減額したものにも目を凝らし、どちらもなぜそうなるのか刮目してみる。それらの中には、佐小改修など児童生徒のこれからを守る教育費の増加、新庁舎建設などこの町のこれからを守る総務費の増加など、どれもこれも町のこれからの必要不可欠だろうと考える。今後も町のこれからの必要なものには、財源の許す限りかつムリ・ムダ・ムラのない至極当然の予算編成・運営を望む。



但木早苗 議員

令和8年度から国の制度として、小学生の給食費が無償化されます。それにより町の負担が780万円減額されることがわかりました。これを、是非とも引き続き子どもたちのための教育予算に使ってほしいと思います。

新たな補助金で、少額ではありますが「犬・猫の不妊去勢手術費補助金」が計上されていました。数年前の多頭飼育崩壊問題が町でおこったことが経緯にありますが、住民の理解と協力を得られるために手順等もあわせた周知が必要だと思えます。



三田真美 議員

「防犯カメラの設置増」
公共施設の数箇所のみ設置されていますが、スクールゾーンで交通量の多い場所や街中にはいまだ未設置です。町民の安全と安心、財産を守るためにもカメラを増やすべきと考えます。

「職員研修を広域に行う」
議員などの視察に職員も共に参加し、他の町村の施策を勉強し、共通意識を持って町の今後のために活かしていくべきと考えます。現状の研修だけでよいのか、再度検討していくべきです。
今後はこれらの予算についても措置されることを期待します。



渡辺一馬 議員

今年度の予算の一番の重要事項は、新庁舎建設に向けた予算だろう。関係方面と慎重に議論を積み重ね、実現までこぎつけた、という印象です。無事に建設が進み、町民の皆さんに喜んで利用していただけるよう、期待しています。教育関係の予算では、必要なものは網羅されていると感じています。ICT機器、クーラーの設置、建物改修の計画、学校給食施設の機器の更新など。水道事業は設備、配管などの経年劣化が進み、維持管理が大変な時期になりました。公共施設の維持とともに、将来に不安が残ります。医療機関の維持、福祉施設の運営など、人手不足、財政の不足等課題はつきません。その中でバランスの取れた努力も見える予算だと思えます。



面 栄次 議員

「バラまいたあとに刈取る」
この物価高に少子化対策の財源を、お年寄りの年金から今でも苦しいのに後期高齢者保険税から上乘せして徴収するのは理解できない。これからの子ども達にお金を分配するよりもっと有意義な財政と、これから直面する生活に必要な燃料高騰に対する対策を主に考えてはどうだろうか。



住田広樹 議員

令和8年度予算の審議が行われました。世情を見ても、これからの予算にはあまり自由度は無さそうに感じています。守りの予算として、インフラ・医療・福祉は必須であり、これからも増え続けるため、減らすことは難しいでしょう。一方で、教育予算は少子化により減ります。となると、残されたのは攻めの予算としての経済活性化や人材に関わる部分です。これらを町がどう使うかでこれからの町の未来は変わってくると考えています。「人々の笑顔は数字には変えられません」と語る町長のこれからのビジョンと政策手腕、そしてその実際の結果に期待したいと思えます。



高橋広明 議員

令和8年度予算（案）を、議員になって初めて予算特別委員会で審議しました。役場新庁舎建設、佐呂間小学校大規模改修事業などを実施するため、前年度予算と比べ、増額となりました。その他にも、住民サービスを考へての予算だと考えられました。次年度においては、物価高騰対策、高齢者等の福祉・生活支援など、より町民の声を聞いて、より良い住民サービスを目指した予算作りを次年度以降期待します。
以上のことから、令和8年度予算（案）に賛成しました。



鈴木身江子 議員

ふれあいバスの町外線が月曜から金曜まで毎日運行になり、町民ばかりでなく、旅行者にとっても使いやすくなったと思います。次は、学生の皆さんが土日にも町外へ出かけられるようになるよう期待します。佐呂間町のご数年の出生数を考え、どんなビジョンで進めるのか、どこにお金をかけるのかを冷静に決めていく時かと思えます。佐呂間高校の存続、移住、定住、働き手不足など、どこに問題点があるのか、解決していく案を考え、予算に反映していくことが重要かと思えます。

トラットリア『さるま議会』

ようこそ！トラットリア『さるま議会』へ。
 トラットリアはイタリアの大衆的なレストランや食堂でカジュアルなお店を意味します。
 親しみやすく、楽しく、議会で決めたことなどをお伝えするため、トラットリアで美味しく
 調理したメニューにして紹介しますよ♪

今回の議決メニュー

アンティパスト（前菜）

☆第1回定例会

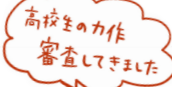
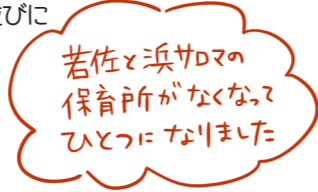
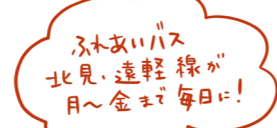
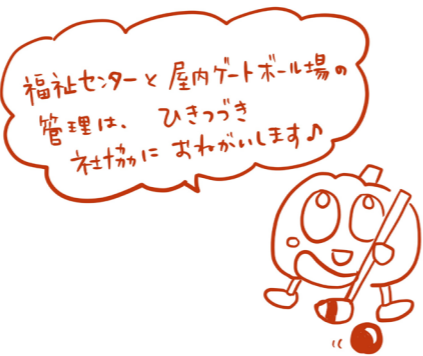
- ・佐呂間町老人福祉センターに係る指定管理者の指定
- ・佐呂間町屋内ゲートボール場に係る指定管理者の指定
- ・佐呂間町過疎地域持続的発展市町村計画の策定
- ・専決処分承認（損害賠償額の決定）

のスパナータ（サラミとルッコラなどを平たく伸ばしたチーズで巻いたもの）
 ※うすくのぼしたサラミのことを言う場合やサラミの種類を意味する場合もある。

プリモピアット（最初のお皿）

☆第1回定例会

- ・証人等の実費弁償に関する条例の一部改正
 - ・佐呂間町旅費支給条例の一部改正
 - ・佐呂間町ふれあいバスの運行に関する条例の一部改正
 - ・佐呂間町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例制定
 - ・佐呂間町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例制定
 - ・佐呂間町立へき地保育所条例の廃止
 - ・佐呂間町簡易水道事業給水条例の一部改正
 - ・佐呂間町簡易水道の布設工事の監督及び布設工事監督者の資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部改正
 - ・第2号会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正
- のアマトリチャーナ（トマトソースの Pasta）



- 2月26日（木）
 - 町立診療所特別委員会
- 3月活動状況
 - 3月3日（火）
 - 遠軽地区広域組合議会定例会
 - 3月4日（水）
 - 議会運営委員会
 - 3月5日（木）
 - 寿大学卒業式
 - 3月9日（日）
 - 佐呂間町議会第1回定例会
 - 3月11日（水）
 - 第3回全員協議会
 - 3月13日（金）
 - 議会活性化特別委員会
 - 3月13日（金）
 - 議会広報特別委員会
 - 3月16日（月）
 - 佐呂間漁業協同組合通常総会
 - 3月16日（月）
 - 佐呂間高校フォトコンテスト審査会
- 4月活動状況
 - 4月7日（火）
 - 遠軽地区総合開発期成会総会
 - 4月8日（水）
 - 佐呂間高校入学式
 - 4月9日（木）
 - 林野火災予防消防協議会
 - 4月15日（水）
 - 佐呂間町農業協同組合通常総会
 - 4月16日（木）
 - 議会活性化特別委員会
 - 4月23日（木）
 - 議会広報特別委員会
 - 4月28日（火）
 - 寿大学入学式
 - 第4回全員協議会



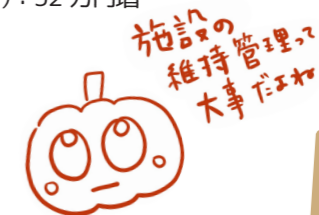
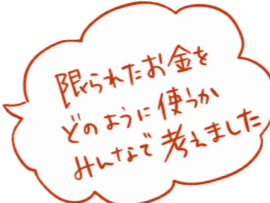
セコンドピアット（2番目のお皿・メイン）

☆第1回臨時会

- ・令和7年度佐呂間町一般会計補正予算（第8号）：1億2,178万6千円増
- ・令和7年度佐呂間町簡易水道事業会計補正予算（第6号）：1,200万円増

☆第1回定例会

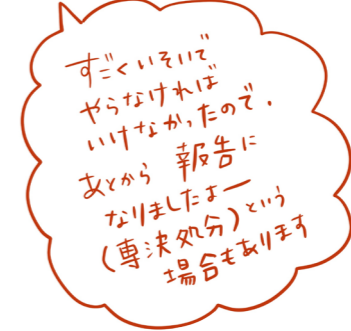
- ・令和8年度佐呂間町一般会計予算
 - ・令和8年度佐呂間町国民健康保険特別会計予算
 - ・令和8年度佐呂間町介護保険特別会計予算
 - ・令和8年度佐呂間町介護サービス事業特別会計予算
 - ・令和8年度佐呂間町後期高齢者医療特別会計予算
 - ・令和8年度佐呂間町簡易水道事業会計予算
 - ・令和8年度佐呂間町公共下水道事業会計予算
 - ・令和7年度佐呂間町一般会計補正予算（第11号）：4億2,886万7千円減
 - ・令和7年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）：2万7千円増
 - ・令和7年度佐呂間町介護保険特別会計補正予算（第4号）：149万8千円増
 - ・令和7年度佐呂間町介護サービス事業特別会計補正予算（第3号）：91万円増
 - ・令和7年度佐呂間町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）：32万円増
 - ・令和7年度佐呂間町簡易水道事業会計補正予算（第7号）
 収入：2,371万1千円減・支出：1,350万3千円減
 - ・令和7年度佐呂間町公共下水道事業会計補正予算（第5号）
 収入：6,064万4千円減・支出：5,123万8千円減
- のオツンブーコ（骨付き肉の煮込み）



コントロール（野菜料理・セコンド付け合せ）

☆第1回臨時会

- ・専決処分承認（令和7年度佐呂間町一般会計補正予算（第7号））：141万2千円増
 - ・専決処分承認（令和7年度佐呂間町簡易水道事業会計補正予算（第5号））：141万2千円増
- のペペロナータ（野菜の煮込み）

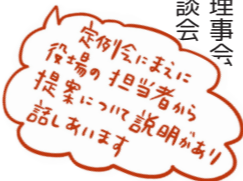


ドルチェ（デザート）

☆第1回定例会

- ・固定資産評価審査委員会委員選任の同意
- ・オホーツク町村公平委員会委員選任の同意
- ・人権擁護委員候補者の推薦
- ・生産現場に寄り添った農業政策を求める意見書のカッサータ（アイスケーキ）

- 2月活動状況
 - 2月2日（月）
 - 遠軽地区広域組合議会臨時会
 - 2月5日（木）
 - 町議会議員・教育委員・教職員・社会教育委員による教育懇談会
 - 2月8日（日）
 - 浜佐呂間小学校閉校式
- 2月9日（月）
 - オホーツク町村議会議長会役員会
 - オホーツク町村議会議長会総会
- 2月13日（金）
 - 北海道町村議会議員公務災害補償等組合定例会
- 2月17日（火）
 - 北海道知事との行政懇談会
- 2月17日（火）
 - 総務福祉常任委員会
- 2月18日（水）
 - 産業文教常任委員会



活動状況などなど

今回の
フォーカス

あの質問は今、
どうなっているのか!?

今回は、過去に議員が一般質問したものは現在どうなっているのか? 回答された内容について追跡してみました!

RS ウイルスや帯状疱疹など様々なウイルス等が流行している。子ども、高齢者だけでなく全世代の健康維持のため感染症や病気予防に負担していく考えはあるか?

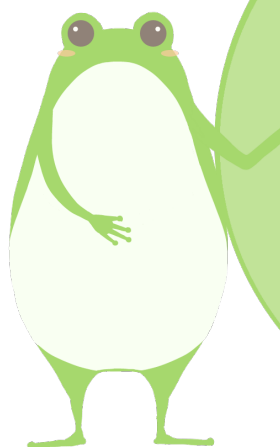
101

〔令和6年3月開催
第1回定例会一般質問〕

令和6年3月開催の第1回定例会で、三田議員が予防接種費用の助成について質問しました。当時、新型コロナウイルスが第2類から第5類へ移行され、ワクチン接種の費用がどうなるか注目されていた時期でした。また、RS ウイルスや帯状疱疹の感染が全国で増え、RS ウイルスは特に子どもにおいて2020年以降流行が続いており、重症化予防にワクチン接種が有効とされ、帯状疱疹はその症状だけでなく後遺症にも多くの方が悩まされていました。そのような中、町としてそれらの感染症やその他のウイルス、病気などの予防接種について補助する考えについて質問がされました。

■当時の町の回答

今後の感染状況や罹患状況の把握に努め、状況をみながら接種費用の助成なり支援、拡大を検討していきます。



どうなった!?

帯状疱疹予防ワクチンは令和7年4月から60歳以上の方で接種要件に該当する方の定期接種として開始されました。本町ではクリニックさるまで接種する場合、接種費用の半額を助成しています。また、任意接種助成として、先述する定期接種に該当しない50歳以上の方への半額助成を行っています。

RS ウイルスでは、令和8年4月に定期接種となったことから、妊婦の方のうち対象となる方へ全額助成を開始しました。

体験型返礼品の取り入れや、フォトコンなどを活用して更なる佐呂間の魅力発信を!!

102

令和6年12月開催の第4回定例会で、三田議員がふるさと納税返礼品について質問しました。本町の特徴を活かし、農作業の体験やホタテ養殖作業をホームステイしながら経験するなど、体験型の返礼品の取り入れや、佐呂間高校生が撮影したフォトコンの写真をポストカードにし、各種返礼品と一緒に送付するなど、佐呂間をPRする取組みについて、取組案を提示し、令和7年度にむけた町の考えについて問いました。

■当時の町の回答

貴重な提言をいただきこれからの展開に活かしていきたいと思えます。体験型返礼品は交流人口拡大を図る上で貴重な機会であり、農協、漁協など幅広い方々と協議し、宿泊クーポン、ポストカードも含め返礼品開発を検討していきます。



どうなった!?

令和7年度、悠林館に対し、宿泊の返礼品を依頼していますが、先方の都合により、現状では未だ宿泊の返礼品は登録に至っていません。今後も継続して宿泊の返礼品登録について依頼していきます。返礼品とあわせて送付するポストカードについては、経費率等の課題があり、実現に至っていません。体験型の返礼品についても、受け入れ先の体制や寄附金額の設定など、課題が多く実現は困難と考えていますが、引き続き検討していきます。

【編集】 議会広報特別委員会

委員長 高橋 紀久 副委員長 住田 広樹
委員 渡辺 一馬 委員 高橋 広明
委員 鈴木身江子 アドバイザー モモちゃん

【編集後記】今年度からいよいよ新庁舎の建設工事がはじまります。ムダのないコンパクト設計としていますが、まちにとってかなり大きな額の支出となります。何十年に一度、せっかく建てるのだからケチケチしないで長く使える良いものを!とも考えますが、将来の負担は増やしたくありません。結局、使う我々次第ということでしょうか。